

陳 情

<p>【陳情名】(継続審査分) 学校存続に向けた広島県立大竹高等学校支援の陳情</p> <p>【提出者名】 広島県立大竹高等学校同窓会 会長 清永 恵三</p> <p>広島県立大竹高等学校 PTA 会長 林 未央</p>	<p>【要旨】</p> <p>本校は大竹市内唯一の県立高等学校であり、昨年度創立 100 周年を迎えた伝統校ですが、学区制の廃止や少子化等の影響もあって、近年では定員割れが続いており、生徒数の確保が困難な状況となっています。広島県教育委員会の「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」によれば 1 学年が 4～8 学級規模（全学年 12 学級～24 学級）が適正としており、全学年 11 学級の本校としてはまさに瀬戸際に位置しているといっても過言ではありません。今後も統廃合の対象校とならないように、より魅力的な高等学校となるべく、次の 3 点に焦点化して魅力的な学校づくりに努力しているところです。</p> <p>①「進路実現」への取組 ②「情報発信」への取組 ③「他行との差別化・魅力化」の取組</p> <p>しかしながら、このような夢の実現に必要な資金は広島県からの予算化や援助はできないものばかりです。その資金を集めるために、本校同窓会・PTA・生徒が一丸となって昨年度から継続して本校活性化のための募金活動を続けています。</p> <p>最近では、このような生徒・保護者・学校・同窓会が一丸となって取組んでいる姿勢に対して多くの大竹市民の皆様から、ご賛同のお声やお手紙をいただくようになりました。</p> <p>さらなる生徒たちの夢の実現と学校存続に向けた取組みへのご理解とご支援をお願い申し上げて、陳情とさせていただきます。</p> <p>1. 学校存続に向けた大竹高等学校の活性化・魅力化のために支援すること 校内塾、国際交流への教育支援、特色ある活動の支援 (年間支援額 300 万円)</p>	<p>【付託委員会】 総務文教委員会</p> <p>【委員会の結果】 不採択</p> <p>委員会での意見 大竹高等学校の市内在住の生徒は全体の 4 分の 1 であり、公平感を担保できない。また、大竹市が設置している学校ではない。学校が本当に存続の危機であるのなら、同窓会が一致結束して募金や寄附活動に励むべきと考えるため、不採択とすべき。</p> <p>大竹市の人口でも子どもが減っていく中で高等学校がなくなるのは、まちづくりにとってもよくないと思う。何らかの形で行政が協力する必要があるため、採択すべき。</p> <p>【本会議の結果】 不採択</p>
<p>【陳情名】 公共の場所に於けるボランティア清掃活動のいっそうの支援を求める陳情</p> <p>【提出者名】 豊川 和也</p>	<p>【要旨】</p> <p>大竹市では年に数回一斉清掃があり、地域の方々が朝早く清掃されております。公園などの公共の場所に落ちているごみや雑草、雑木は、地域の方々が自主的に除草、清掃作業をして処分されています。</p> <p>西東京市では、公共の場所を清掃する際、ボランティア袋、清掃用具の貸出、拾ったごみ、除草された草を無料で回収する取組を行っているそうです。大竹市においても、公共の場所にて清掃する際に個人でも団体でも申請すれば、ごみ袋の支給や無料でごみを回収する制度がありますが、個人の方の申請が少ないとのことでした。</p> <p>そこで、大竹市の現制度に西東京市の制度を取り入れることで、ボランティア作業がよりいっそう盛り上がることと思いますので、次の項目を陳情いたします。</p> <p>1. 公共の場所にて清掃する際の申請した際に無料でもらえるごみ袋に大竹市民の公募によるネームを付けること。 2. 清掃用具（ごみ拾い tong・ベスト・のぼり旗）を貸付してもらうこと。 3. 定期的に市広報、SNS 発信（ごみ袋ネーム公募、活動内容、事後報告等）のこと。</p> <p>本会議での討論 【不採択とすべき討論】 本市でもクリーンキャンペーン等で同様のことを実施しており、個人への清掃用具の貸与を SNS 発信で伝えていくことは必要との意見を付して、不採択とすべき。</p>	<p>【付託委員会】 生活環境委員会</p> <p>【委員会の結果】 不採択</p> <p>【本会議の結果】 不採択</p>

<p>【陳情名】 小瀬川堤防 (大竹市側：中市堰～ 栄橋)の早期改善を求 める陳情</p> <p>【提出者名】 木下 正紀 ほか4名</p>	<p>【要旨】 現在、地球温暖化が叫ばれ、自然災害は多発化・激甚化が進行しております。小瀬川による災害については、過去にも、ルース台風（昭和26年）をはじめとし、広島県側では多くの洪水被害が生じておりました。近年、気候変動の中、流域の地域住民は小瀬川からの洪水・高潮・津波被害への関心が高まり、防災への地域住民の意識が高まっているところであります。</p> <p>一方、小瀬川の中市堰～栄橋区間の堤防整備や堤防状況を見渡したところ、疑問に感じる状況がとて多くみられます。我々はそれらを「小瀬川堤防改善の要望」にまとめ、すみやかな小瀬川堤防の早期改善を求めるものです。</p> <p>現状の堤防では、小瀬川左岸に生活している大竹市側流域の地域住民は、洪水・高潮・津波等の被害が襲来してくるのではないかと不安が高まるばかりです。市民の安心・安全を図るため、大竹市側（中市堰～栄橋）堤防の早期改善を進め、大竹市側地域住民の生命・財産・生活を守る堤防整備を求めます。</p> <p>大竹市議会におかれましては、小瀬川堤防の現状を真摯に受け止め、大竹市流域住民の小瀬川堤防の早期改善の要望を国や県、関係機関に要望していくことを強く望みます。</p> <p>1. 小瀬川堤防（大竹市側：中市堰～栄橋）の早期改善を求めること。</p>	<p>【付託委員会】 生活環境委員会</p> <p>【委員会の結果】 採択</p> <p>【本会議の結果】 採択</p>
<p>本会議での討論 【採択とすべき討論】 近年地球温暖化による集中豪雨の増加や、近い将来予測される大地震による洪水高潮津波被害等への備えが喫緊の課題となっている。小瀬川堤防の大竹市側の整備強化は市民の安心安全を守るためにも不可欠と考える。災害はいつやってくるかわからないため、市としても河川管理者である国土交通省へ早期整備を継続的に訴えていくことが最重要であるとして採択すべき。</p>		

<p>議会日誌</p> <p>11月8日 一般国道2号廿日市大竹道路整備促進 期成同盟会要望活動（東京都）</p> <p>8-9日 生活環境委員会先進地事例調査研究 （佐賀市、大木町）</p> <p>15日 議会改革特別委員会</p> <p>24日 議会運営委員会 広報広聴特別委員会</p> <p>12月1日 本会議</p> <p>5日 総務文教委員会</p> <p>6日 生活環境委員会 生活環境委員協議会 生活環境委員政策研究会</p> <p>7日 基地周辺対策特別委員会</p>	<p>令和4年11月 ～令和5年1月</p>	<p>7日 議会改革特別委員会</p> <p>12日 広報広聴特別委員会</p> <p>15日 本会議 議員全員協議会</p> <p>1月10日 広報広聴特別委員会</p> <p>16日 議会運営委員会 議会改革特別委員会</p> <p>18日 大竹市議会議員研修会</p> <p>20日 臨時会</p> <p>24日 広島県市議会議長会議員研修会 （江田島市）</p> <p>25-26日 石油基地防災対策都市議会協議会（高松市）</p> <p>31日 全国市議会議長会地方財政委員会 （東京都）</p>
--	----------------------------	---

📺 本会議及び委員会の動画配信中

大竹市議会では本会議及び常任委員会の録画映像を動画で配信しています。
下記のQRコードを読み取っていただくと、動画配信サイト（YouTube）へ移行し
視聴できます。



YouTube
大竹市議会

/
で検索
/